

国際漁業学会 (JIFRS) 短信

<http://www.jifrs.info/>

事務局 E-mail: jifrs.kindai@gmail.com

郵便振替番号：00940-0-211673 国際漁業学会

2019 年度第 1 号

2019 年 6 月 1 日刊

目次

- | | |
|---|----------|
| 1. 理事あいさつ | |
| 「IIFET Executive Director Ann Shriver さんの引退にあたって」 | 山下 東子 |
| 2. 2019 年度 JIFRS 大会（東京大会）のご案内 | 婁 小波・事務局 |
| 3. 学会賞（国内賞）候補者の推薦依頼 | 八木 信行 |

1. IIFET Executive Director

Ann Shriver さんの引退にあたって

山下 東子（国際漁業学会副会長・大東文化大学）

当 JIFRS は JIFRS 山本賞や当会員の大会出席などを通じて IIFET (国際漁業経済貿易学会) とつながりを持っています。とりわけ、IIFET/NAAFE の事務局長を永らく務めてこられたアン・シュライバー事務局長（以下親しみを込めてアンさんと呼びます）には山本賞の募集や IIFET 大会でのセッションの設置等について、特別の計らいを受けました。そこでアンさんの引退にあたって JIFRS から感謝の手紙と記念品を贈り、礼状をいただきました。ここではこの概要について報告いたします。

IIFET 事務局から、2018 年 11 月 17 日付で「Executive Director の求人」メールが届き、アンさんが同年末をもって 31 年間務めたこのポストを辞することがわかりました。そこで、会長・副会長の間でどのように引退を祝福すべきかを種々検討した結果、メッセージと記念品を贈ることとしました。多田会長が記念品選定係、私（副会長の 1 人）が手紙係となり、IIFET 大会に参加経験のある当学会会員の方々にお声掛けをしてメッセージを募集しました。手紙には、宮田勉、阪井裕太郎、八木信行、多田稔、山下東子（メッセージを寄せた順）の諸氏からいただいたメッセージを列挙して感謝の意を表するとともに今後のご健勝を祈り、最後に記念品の説明を加えました。記念品は、中川政七商店の越前漆製、干支の文様の入った酒杯です。記念品は 12 月 23 日に（IIFET 事務局あて）、メッセージは 12 月 28 日（メール）に送付したところ、2019 年 1 月 1 日付でアンさんより礼状メールが届きました。その概要は、

山下、多田、阪井、八木、宮田、JIFRSの皆さん、そして松田先生、故山本先生へ先週金曜日に、とてもラブリーなサケカップをいただきました。新年に良い酒を求め、これらを使い初めさせていただきます。お手紙もすばらしく、時間と労力を使って下さりありがとうございます。JIFRSにも2004年の組織委員会にも感謝します。当時、松田先生はじめ皆様が資金集めなどとても苦労されたことを思い起こします。今度の事務局長もとても良い方ですので、今後ともJIFRSとIIFETは姉妹学会として連携していきましょう。オレゴンに来られたらいつでも連絡して下さい。

です。上記11月17日のメールでは、アンさんは今後、一事務局員としてIIFETに関わっていくとおっしゃっていましたが、またIIFET大会などでお会いできることを楽しみにいたしたいと思えます。以上ご報告をもって理事あいさつに代えさせていただきます。

2. 2019年度JIFRS大会（東京大会）のご案内

妻 小波（国際漁業学会理事・東京海洋大学）・事務局

2019年度JIFRS大会は、東京海洋大学で開催されます。多くの会員、関係者の皆様方の奮ってのご参加をお待ちしております。

◆日時・会場：

2019年8月3日（土）～4日（日）・東京海洋大学

◆スケジュール：

8月3日午前	10:00-11:00	編集委員会（楽水会館2F 特別会議室）
	11:10-12:30	理事会（楽水会館2F 特別会議室）
午後	13:00-18:00	シンポジウム（楽水会館1F 大会議室）
	18:10-20:00	懇親会（大学生協）
8月4日午前		個別報告（会場①：楽水会館1F 大会議室、会場②：楽水会館2F 小会議室） （個別報告申し込み数が多い場合、午後にも追加します）
午後		総会（会場①：楽水会館1F 大会議室）

2019年度国際漁業学会（JIFRS）大会シンポジウム

「日本の水産物フードシステムの特質と持続可能性—その経験と課題—」

コーディネータ 妻小波（東京海洋大学）

近年、国連の掲げる持続可能な開発目標（SDGs）や水産エコラベルの国際標準化の潮流に代表されるように海洋資源の保全と持続可能な利用に関して世界から我が国への要求が高まっています。他方、里海（Satoumi）やもったいない（Mottainai）など我が国から世界へと発信されている知恵もあります。2019年の国際漁業学会では、日本の水産物フードシステムの特質と持続可能性に関する経験と課題について、積極的に評価すべき側面と批判的検討が必要な側

面の両面から議論し、来年に控えた東京オリンピックで日本の漁業・水産業の持続可能性に関する知恵や技術、価値観を世界に発信する可能性を議論する機会としたいと思います。

日時：2019年8月3日 13:00-18:00

司会 川辺みどり（東京海洋大学）

開会挨拶 多田稔（近畿大学） 13:00-13:05

解題 婁小波（東京海洋大学） 13:05-13:25

報告 1 大石太郎（東京海洋大学） 13:25-13:55
「日本独自の水産物エコラベルと持続可能な発展」

報告 2 中原尚知（東京海洋大学） 13:55-14:25
「高鮮度水産物流通システムと持続可能性」

休憩 14:25-14:35

報告 3 宮田勉（中央水研）・鈴木裕己（株式会社プロ・スパー） 14:35-15:25
「未利用・低利用魚介類資源の利用意義と価値創造」

報告 4 柳哲雄（九州大学名誉教授） 15:25-15:55
「環境保全における里海コンセプトとその重要性」

報告 5 猪又秀夫（水産庁） 15:55-16:25
「漁業の持続性と日本の資源管理（仮）」

休憩 16:25-16:35

コメント 1 綿貫尚彦（OAFIC） 16:35-16:45

コメント 2 山下東子（大東文化大学） 16:45-16:55

ディスカッション 16:55-17:55

閉会挨拶 宮田勉（中央水産研究所） 17:55-18:00

◆ 報告予定者に向けた連絡事項

・個別報告について

個別報告は1報告あたり25分（質疑含む）の予定です。個別報告を希望する会員は、報告者の氏名、所属、および報告タイトルを、6月30日までに国際漁業学会事務局（jifrs.kindai@gmail.com）までご連絡ください。また、7月15日までに報告要旨（40字×25行以内）を、7月28日までにパワーポイント等による報告資料（当日までに改変可、事前に座長に渡します）を、それぞれメールで事務局まで提出してください。

・報告論文について

シンポジウム報告および個別報告の報告者におかれましては、大会終了後に報告内容をベースとする10枚程度までのコンパクトな和文論文を「報告論文」として和文誌『国際漁業研究』に投稿することができます。報告論文の査読手続きは一般投稿論文と同じで、掲載料は1万円となっています。報告予定者におかれましては、「報告論文」への奮っての投稿をお願いします。

◆参加費・会費：当日受付にて徴収

大会参加費：一般会員 2,000 円、一般非会員 3,000 円（地元漁業関係者・学生は無料）

懇親会費：一般 5,000 円、学生 3,000 円

※懇親会へ参加される方は、7 月 15 日までにメールにて国際漁業学会事務局 (jifrs.kindai@gmail.com) までお申し込みください。

※報告要旨集は配布しませんので、要旨等は、各自で事前にホームページ (<http://www.jifrs.info/>) からダウンロードをお願いします。(7 月 20 日頃に掲載します)

詳細なスケジュールや会場情報は、随時ホームページに掲載していきます。

3. 学会賞（国内賞）候補者の推薦依頼

八木 信行（国際漁業学会学会賞選考委員長・東京大学）

2019 年度の学会賞候補者の選考を開始します。選考要領は下記の通りです。自薦・他薦を受け付けますので、積極的に推薦してください。賞の種類は以下の 3 種類です。

<功績賞>学会の活動に対して大きな貢献のあった会員。

<学会賞>書籍、もしくは一連のまとまった研究を通して、学術の発展に大きく寄与した会員（個人）。過去 1 年間（2018 年 1 月～2019 年 4 月）の業績が対象です。

<奨励賞>おおむね 40 歳以下で、本学会誌に掲載された論文、もしくはそれを含む一連の研究を通して、学術の発展に寄与した会員（個人）。本学会誌第 17 巻掲載論文（会誌としては未刊行（近刊）ですが、on line ジャーナルの第 17 巻に掲載されている和文・英文の論文が対象となります）。

募集期間：2019 年 7 月 14 日（日）締め切り

推薦方法：推薦する賞のジャンルとその理由（形式自由）を、JIFRS 会長（多田稔 tadacom@nifty.com）宛てに、E メールにて送付してください。

選考方法：会長が学会賞選考委員会に諮って候補者を決め、理事会の承認を得て決定します。

賞の授与：2019 年度国際漁業学会大会の際におこなう総会にて授与します。受賞候補者には事前にお知らせしますので、ぜひ大会へのご出席をお願いします。